景況レポート
No.125
平成 30 年 10 月～12 月期

北見しんきん
KITAMI SHINKIN
〒090－8711 北見市大通東 1 丁目 2 番地 1
電　話（代）　0157－66－3111
URL:http://www.shinkin.co.jp/kitami/
本レポートはホームページでもご覧になれます。

景　気　動　向

道内景気

日本銀行札幌支店が 12 月 14 日に発表した 12 月の企業短期経済観測調査結果（短観）によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数（DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値）は全産業で 6 となり、前回の調査（9）から悪化しました。内訳では、製造業（前回 5→今回 8）は改善、非製造業（前回 10→今回 5）は悪化しました。2019 年 3 月までの全体の先行きは▲2 と、悪化の見通しです。

また、12月14日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、基調としては緩やかに回復しており、北海道胆振東部地震の影響による下押し圧力は緩和を続けている。公共投資は、減少している。輸出は、緩やかに持ち直している。設備投資は、緩やかに増加している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられているものの、基調としては回復している。観光は、国内客を中心に回復している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

生産は、挽回生産による増産がみられるものの、基調としては横ばい圏内の動きとなっている。

- 新設住宅着工戸数をみると、持家および貸家は横ばい圏内の動きとなっている。分譲は増加基調にある。
- 個人消費は、百貨店では、高額品消費は堅調に推移しているものの、衣料品などに弱さがみられることから、全体としては横ばい圏内の動きとなっている。スーパーでは、エネルギー価格などの上昇による節約志向の強まりから、幾分弱めの動きとなっている。コンビニエンスストアでは、新規出店効果などから、堅調に推移している。ドラッグストアでは、新規出店効果や店舗改装効果などから、増加している。乗用車販売では、横ばい圏内の動きとなっている。家電販売では、堅調に推移している。
- 観光は、国内客を中心に回復している。観光客の入込みをみると、国内客は、「北海道ふっこう割」の効果などから回復しており、概ね地震前の水準に復している。また、海外客は、プロモーション活動の奏功などから、持ち直している。
- 消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格の動向を背景に前年を上回っている。
- 企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲28 と横ばい、収益は▲29 と 2 ポイントの改善でした。直前 3 ヵ月と比較した来期見通しでは、売上DI値は▲40、収益DI値は▲41 となり、例年通り季節要因から悪化の見通しとなっています。

特別調査 【２０１９年の経営見通し】

当地方における 2019 年の経営見通しをお尋ねしました。

【日本の景気】

「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計は 44.2%となりました。昨年の調査（34.3%）から増加しています。

【自社の業況】

「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計は 46.4%となり、昨年の調査（37.6%）から増加しました。

一方、「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計は 13.8%（前年 13.8%）と横ばいとなり、「普通」は 39.8%（前年 48.6%）と減少しています。

【売上額の伸び率】

「増加」の回答合計は 19.9%となり、昨年の調査（18.8%）から増加しました。

「減少」の回答合計も 43.1%と昨年の調査（35.3%）から増加しており、「増加」の回答合計を上回っています。

【自社の業況が上向く転換点】

「すでに上向いている」は 15.5%となり、昨年の調査（16.3%）から減少しました。

一方、「業況改善の見通しは立たない」は 44.7%と昨年の調査（42.7%）から増加しています。

【自然災害、異常気象の影響】

最も影響を受けた自然災害については、「地震・噴火」が 39.8%と最も多くなっています。

経営に受けた影響では、「影響は受けなかった」が 42.0%と最も多く、「売上・受注の減少」が 31.5%、「仕入・調達・納期の遅れ」が 23.2%と、悪影響を受けたとの回答が続いています。

なお、「復旧需要など、むしろ好影響があった」との回答は 2.2%と少数でした。

【貴社では、2019 年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から１つ選んでお答えください。】

		《全国》
１．非常に良い	0.0%	0.3%
２．良い	3.9%	3.6%
３．やや良い	12.7%	16.3%
４．普通	39.2%	48.0%
５．やや悪い	31.5%	25.2%
６．悪い	11.0%	5.9%
７．非常に悪い	1.7%	0.7%

【貴社では、2019 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から１つ選んでお答えください。】

		《全国》
１．非常に良い	0.5%	0.3%
２．良い	2.8%	3.5%
３．やや良い	10.5%	15.6%
４．普通	39.8%	52.7%
５．やや悪い	34.2%	22.4%
６．悪い	10.5%	4.7%
７．非常に悪い	1.7%	0.8%

【2019 年において貴社の売上額の伸び率は、2018 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から１つ選んでお答えください。】

		《全国》
１．３０%以上の増加	1.1%	0.7%
２．２０～２９%の増加	1.1%	1.3%
３．１０～１９%の増加	5.0%	7.7%
４．１０%未満の増加	12.7%	22.0%
５．変わらない	37.0%	45.7%
６．１０%未満の減少	31.5%	16.6%
７．１０～１９%の減少	8.3%	4.2%
８．２０～２９%の減少	1.1%	1.0%
９．３０%以上の減少	2.2%	0.7%

【貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から１つ選んでお答えください。】

		《全国》
１．すでに上向いている	15.5%	19.3%
２．６か月以内	5.0%	8.5%
３．１年後	10.5%	13.3%
４．２年後	9.4%	10.2%
５．３年後	8.8%	8.6%
６．３年超	6.1%	8.7%
７．業況改善の見通しは立たない	44.7%	31.3%

【2018 年は、地震や台風などの自然災害が相次いだほか、豪雪・寒波や豪雨、猛暑といった異常気象も各地で発生しました。2018 年の貴社の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象を 1～5 の中から１つ選んでお答えください。また、受けた影響について、最も当てはまるものを 6～0 の中から１つ選んでお答えください。】

		《全国》
最も影響を受けた自然災害		
１．地震・噴火	39.8%	6.9%
２．台風・豪雨	17.7%	39.5%
３．豪雪・寒波	1.6%	4.0%
４．猛暑	2.2%	9.1%
５．特にない	38.7%	40.5%
経営に受けた影響		
６．売上・受注の減少	31.5%	21.1%
７．仕入・調達・納期の遅れ	23.2%	21.5%
８．店舗設備や工場等の損壊	1.1%	8.9%
９．影響は受けなかった	42.0%	42.2%
０．復旧需要など、むしろ好影響があった	2.2%	6.3%

売上・収益　　調査企業１８１社

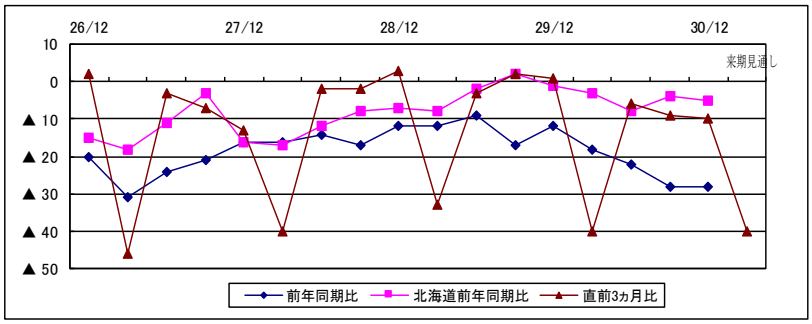
売　上

調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（29 年 10～12 月）と比較して「増加」した先 19%、「変らず」の先 34%、「減少」した先 47%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲28となり、前回調査と同じでした。

業種別でみますと、製造業・卸売業は改善、建設業・サービス業は悪化、小売業は横ばいとなっています。

3 ヵ月毎の比較では悪化、来期も悪化の見込みです。

売上　　ＤＩ値 図 表



調査時期	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
前年同期比	▲ 20	▲ 31	▲ 24	▲ 21	▲ 16	▲ 16	▲ 14	▲ 17	▲ 12	▲ 12	▲ 9	▲ 17	▲ 12	▲ 18	▲ 22	▲ 28	▲ 28

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
北海道前年同期比	▲ 15	▲ 18	▲ 11	▲ 3	▲ 16	▲ 17	▲ 12	▲ 8	▲ 7	▲ 8	▲ 2	2	▲ 1	▲ 3	▲ 8	▲ 4	▲ 5

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	来期見通し
直前3ヵ月比	2	▲ 46	▲ 3	▲ 7	▲ 13	▲ 40	▲ 2	▲ 2	3	▲ 33	▲ 3	2	1	▲ 40	▲ 6	▲ 9	▲ 10	▲ 40

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

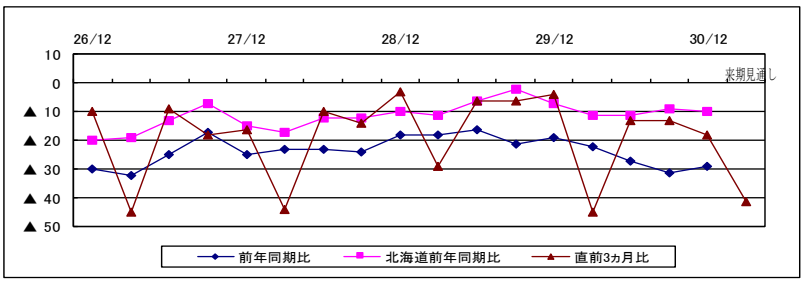
収　益

調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（29 年 10～12 月）と比較して「増加」した先 17%、「変らず」の先 37%、「減少」した先 46%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲29となり、前回調査より 2 ポイント改善しました。

業種別でみますと、卸売業・建設業は改善、製造業・小売業・サービス業は悪化となっています。

3 ヵ月毎の比較では悪化、来期も悪化の見込みです。

収益　　ＤＩ値 図 表



調査時期	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
前年同期比	▲ 30	▲ 32	▲ 25	▲ 17	▲ 25	▲ 23	▲ 23	▲ 24	▲ 18	▲ 18	▲ 16	▲ 21	▲ 19	▲ 22	▲ 27	▲ 31	▲ 29

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
北海道前年同期比	▲ 20	▲ 19	▲ 13	▲ 7	▲ 15	▲ 17	▲ 12	▲ 12	▲ 10	▲ 11	▲ 6	▲ 2	▲ 7	▲ 11	▲ 11	▲ 9	▲ 10

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	来期見通し
直前3ヵ月比	▲ 10	▲ 45	▲ 9	▲ 18	▲ 16	▲ 44	▲ 10	▲ 14	▲ 3	▲ 29	▲ 6	▲ 6	▲ 4	▲ 45	▲ 13	▲ 13	▲ 18	▲ 41

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

製 造 業　　調査企業３１社

概　況

調査先製造業全体の業況を前年同期（29 年 10～12 月）と比較してみますと、売上で「増加」した先 29%、「変らず」の先 32%、「減少」した先 39%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲10 となり、前回調査より 9 ポイント改善しました。

収益は「増加」した先 16%、「変らず」の先 52%、「減少」した先 32%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲16 となり、前回調査より 6 ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前 回	7	11	13	▲19
	今 回	9	10	12	▲10
収益	前 回	7	14	10	▲10
	今 回	5	16	10	▲16

動　向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化しました。

内訳をみますと、食料品の売上・収益、その他の売上は改善しましたが、それ以外は全般的に悪化しています。

【直前３ヵ月との比較】

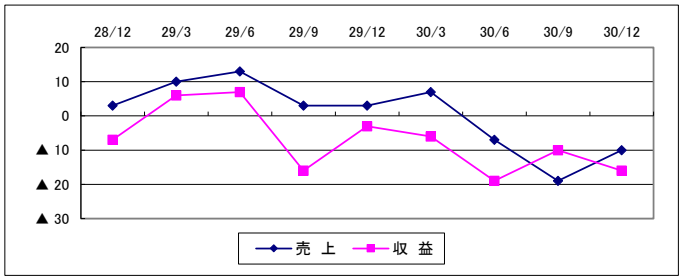
売上・収益ともに改善しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化する見通しです。

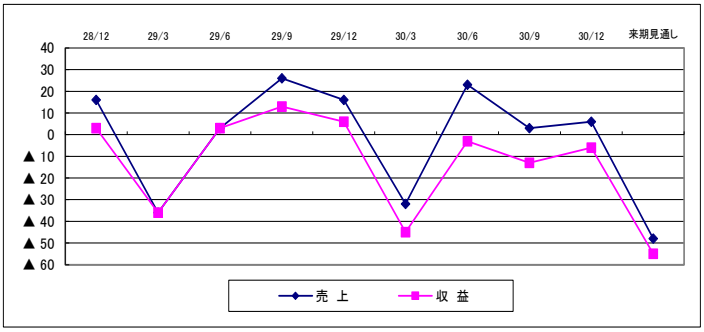
調査員のコメントには、「原材料価格が上昇しているため、各販売先に価格交渉中である」「積極的な営業活動による販路拡大と、新商品の販売開始により増収となった」といったものがありました。

前年同期比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
売 上	3	10	13	3	3	7	▲ 7	▲ 19	▲ 10
収 益	▲ 7	6	7	▲ 16	▲ 3	▲ 6	▲ 19	▲ 10	▲ 16

直前3ヵ月比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	来期見通し
売 上	16	▲ 36	3	26	16	▲ 32	23	3	6	▲ 48
収 益	3	▲ 36	3	13	6	▲ 45	▲ 3	▲ 13	▲ 6	▲ 55

直前3ヵ月比調査の業種別状況（DI値による）　　（%）

項　目		全　体	食 料 品	木材製品	建設関連	そ の 他
売 上 額	7月～9月と比較	6	29	10	0	▲ 14
	1月～3月の見通	▲ 48	▲ 57	▲ 40	▲ 29	▲ 71
収　益	7月～9月と比較	▲ 6	14	▲ 10	▲ 14	▲ 14
	1月～3月の見通	▲ 55	▲ 71	▲ 60	▲ 29	▲ 57
販売価格	7月～9月と比較	3	0	0	14	0
	1月～3月の見通	3	0	0	0	14
原材料 価 格	7月～9月と比較	48	71	40	29	57
	1月～3月の見通	39	43	30	14	71
原材料 在 庫	7月～9月と比較	0	0	▲ 20	14	14
	1月～3月の見通	0	0	▲ 20	14	14
資金繰	7月～9月と比較	▲ 7	14	▲ 40	0	14
	1月～3月の見通	▲ 20	0	▲ 50	0	▲ 15

卸 売 業　　調査企業２２社

概　況

調査先卸売業全体の業況を前年同期(29年10～12月)と比較してみますと、売上で「増加」した先27%、「変らず」の先32%、「減少」した先41%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲14となり、前回調査より13ポイント改善しました。

収益は「増加」した先27%、「変らず」の先32%、「減少」した先41%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲14となり、前回調査より27ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先41%、「変らず」の先59%、「減少」した先0%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は41となり、前回調査と同じでした。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前　回	6	4	12	▲27
	今　回	6	7	9	▲14
収益	前　回	3	7	12	▲41
	今　回	6	7	9	▲14
販価	前　回	11	9	2	41
	今　回	9	13	0	41

動　向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は横ばいでした。内訳をみますと、建設関連の売上は横ばいでしたが、それ以外は全般的に改善しています。

【直前３ヵ月との比較】

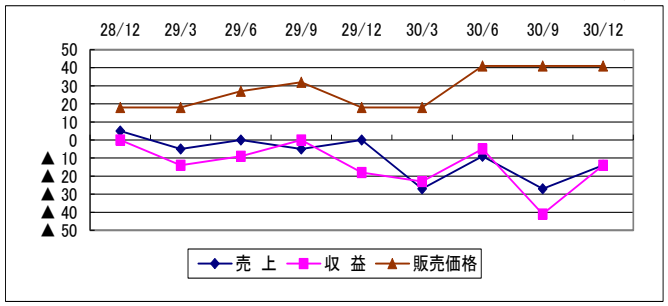
売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降する見通しです。

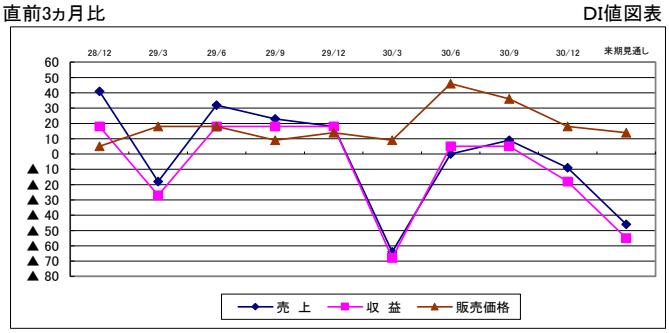
調査員のコメントには、「北海道胆振東部地震による停電の影響により、冷蔵施設内の商品にロスが発生した」「北見市の新庁舎建築に伴い、建設資材の売上が順調に推移している」といったものがありました。

前年同期比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
売 上	5	▲5	0	▲5	0	▲27	▲9	▲27	▲14
収 益	0	▲14	▲9	0	▲18	▲23	▲5	▲41	▲14
販売価格	18	18	27	32	18	18	41	41	41

直前3ヵ月比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	来期見通し
売 上	41	▲18	32	23	18	▲64	0	9	▲9	▲46
収 益	18	▲27	18	18	18	▲68	5	5	▲18	▲55
販売価格	5	18	18	9	14	9	46	36	18	14

直前3ヵ月比調査の業種別状況（DI値による）　（%）

項　目		全　体	食料品	建設関連	その他
売上額	7月～9月と比較	▲9	▲17	▲13	0
	1月～3月の見通	▲46	▲17	▲63	▲50
収　益	7月～9月と比較	▲18	▲33	▲13	▲13
	1月～3月の見通	▲55	▲33	▲63	▲63
販売価格	7月～9月と比較	18	33	25	0
	1月～3月の見通	14	50	0	0
仕入価格	7月～9月と比較	23	33	25	13
	1月～3月の見通	23	33	13	25
在　庫	7月～9月と比較	5	0	13	0
	1月～3月の見通	9	0	13	13
資金繰	7月～9月と比較	5	▲17	13	13
	1月～3月の見通	▲5	0	0	▲13

小 売 業　　調査企業４０社

概　況

調査先小売業全体の業況を前年同期（29 年 10～12 月）と比較してみますと、売上で「増加」した先 12%、「変らず」の先 26%、「減少」した先 62%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲50 となり、前回調査と同じでした。

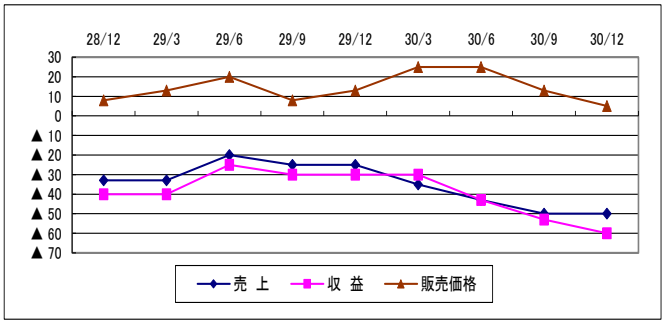
収益は「増加」した先 10%、「変らず」の先 20%、「減少」した先 70%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲60 となり、前回調査より 7 ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先 25%、「変らず」の先 55%、「減少」した先 20%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は 5 となり、前回調査より 8 ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

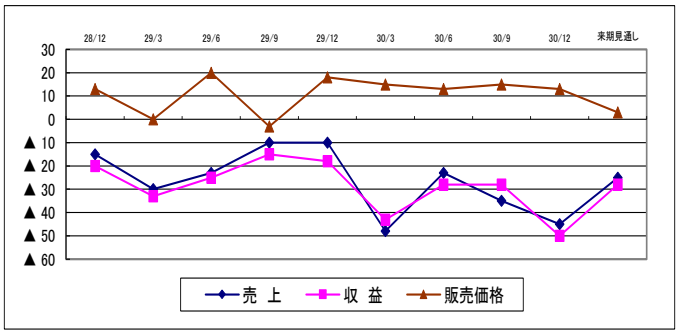
		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前 回	3	14	23	▲50
	今 回	5	10	25	▲50
収益	前 回	3	13	24	▲53
	今 回	4	8	28	▲60
販価	前 回	9	27	4	13
	今 回	10	22	8	5

前年同期比　　ＤＩ値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
売 上	▲ 33	▲ 33	▲ 20	▲ 25	▲ 25	▲ 35	▲ 43	▲ 50	▲ 50
収 益	▲ 40	▲ 40	▲ 25	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 43	▲ 53	▲ 60
販売価格	8	13	20	8	13	25	25	13	5

直前3ヵ月比　　ＤＩ値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	来期見通し
売 上	▲ 15	▲ 30	▲ 23	▲ 10	▲ 10	▲ 48	▲ 23	▲ 35	▲ 45	▲ 25
収 益	▲ 20	▲ 33	▲ 25	▲ 15	▲ 18	▲ 43	▲ 28	▲ 28	▲ 50	▲ 28
販売価格	13	0	20	▲ 3	18	15	13	15	13	3

動　向

【前年同期との比較】

売上は横ばい、収益は悪化し、販売価格は下降しました。内訳をみますと、その他の売上は改善しましたが、それ以外は全般的に悪化しています。

【直前３ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上･収益ともに改善し、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「仕入先からの値上げ要請が強く、利幅が縮小している」「商圏人口の減少に伴い、売上が減少している」「北海道胆振東部地震による停電のため、電灯やキャンプ用品を買い求めるお客様が殺到した」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況（DI値による）　（%）

項　目		全　体	衣料品	食料品	その他
売上額	7月～9月と比較	▲ 45	▲ 71	▲ 60	▲ 22
	1月～3月の見通	▲ 25	▲ 29	▲ 40	▲ 11
収　益	7月～9月と比較	▲ 50	▲ 100	▲ 53	▲ 28
	1月～3月の見通	▲ 28	▲ 29	▲ 47	▲ 11
販売価格	7月～9月と比較	13	0	20	11
	1月～3月の見通	3	14	13	▲ 11
仕入価格	7月～9月と比較	40	43	60	22
	1月～3月の見通	13	29	33	▲ 11
在　庫	7月～9月と比較	▲ 3	29	▲ 7	▲ 11
	1月～3月の見通	▲ 5	14	▲ 13	▲ 6
資金繰	7月～9月と比較	▲ 28	▲ 29	▲ 33	▲ 22
	1月～3月の見通	▲ 28	▲ 29	▲ 33	▲ 22

建 設 業　　調査企業３５社

概　況

調査先建設業全体の業況を前年同期（29 年 10～12 月）と比較してみますと、売上で「増加」した先 23%、「変らず」の先 43%、「減少」した先 34%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲11 となり、前回調査より 2 ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先 26%、「変らず」の先 48%、「減少」した先 26%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は 0 となり、前回調査より 17 ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前　回	11	10	14	▲9
	今　回	8	15	12	▲11
収益	前　回	6	17	12	▲17
	今　回	9	17	9	0

動　向

【前年同期との比較】

売上は悪化、収益は改善しました。

内訳のＤＩ値の推移は以下のようになっています。

- 土木売上：前回▲23→今回▲ 8
- 同 収益：前回▲39→今回▲ 8
- 建築売上：前回　0→今回▲12
- 同 収益：前回▲13→今回　6

【直前３ヵ月との比較】

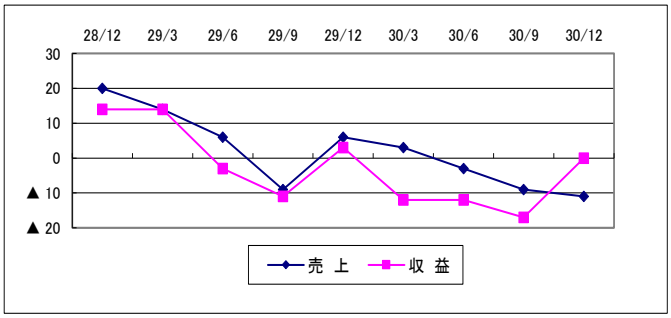
売上・収益ともに悪化しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

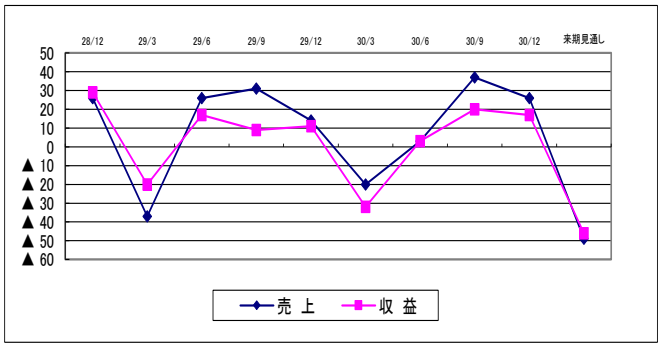
調査員のコメントには、「消費税率引き上げ前に住宅を新築・リフォームしたいとの相談が多く、受注が増加しており、2019 年は好調に推移する見込みである」「人手不足が深刻であり、将来的に外国人の雇用も視野に入れている」といったものがありました。

前年同期比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
売 上	20	14	6	▲ 9	6	3	▲ 3	▲ 9	▲ 11
収 益	14	14	▲ 3	▲ 11	3	▲ 12	▲ 12	▲ 17	0

直前3ヵ月比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	来期見通し
売 上	26	▲ 37	26	31	14	▲ 20	3	37	26	▲ 49
収 益	29	▲ 20	17	9	11	▲ 32	3	20	17	▲ 46

直前3ヵ月比調査の業種別状況（DI値による）　（%）

項　目		全　体	土　木	建　築	その他
売上額	7月～9月と比較	26	8	35	33
	1月～3月の見通	▲ 49	▲ 33	▲ 53	▲ 67
施工高	7月～9月と比較	20	17	24	17
	1月～3月の見通	▲ 49	▲ 42	▲ 47	▲ 67
収　益	7月～9月と比較	17	▲ 8	35	17
	1月～3月の見通	▲ 46	▲ 33	▲ 47	▲ 67
請負価格	7月～9月と比較	9	17	6	0
	1月～3月の見通	▲ 3	0	▲ 6	0
材料価格	7月～9月と比較	54	42	65	50
	1月～3月の見通	51	50	59	33
在　庫	7月～9月と比較	6	▲ 8	12	17
	1月～3月の見通	6	0	6	17
資金繰	7月～9月と比較	▲ 6	8	▲ 12	▲ 17
	1月～3月の見通	▲ 11	17	▲ 24	▲ 33

サービス業　　調査企業５３社

概　況

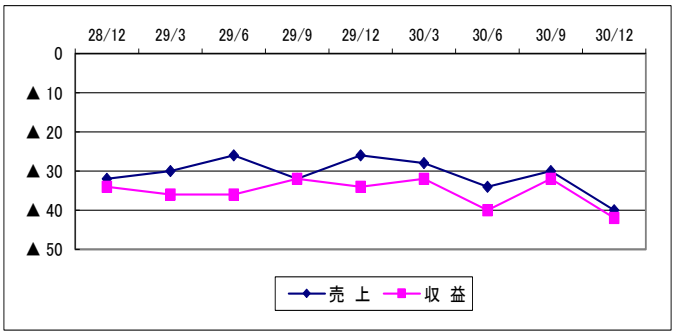
調査先サービス業全体の業況を前年同期（29 年 10～12 月）と比較してみますと、売上で「増加」した先 11%、「変らず」の先 38%、「減少」した先 51%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲40 となり、前回調査より 10 ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先 11%、「変らず」の先 36%、「減少」した先 53%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲42 となり、前回調査より 10 ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

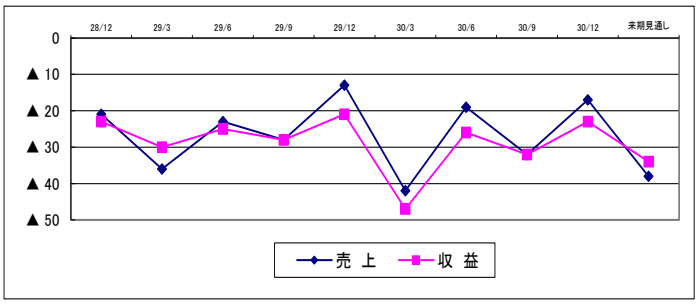
		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前　回	7	23	23	▲30
	今　回	6	20	27	▲40
収益	前　回	5	26	22	▲32
	今　回	6	19	28	▲42

前年同期比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12
売 上	▲ 32	▲ 30	▲ 26	▲ 32	▲ 26	▲ 28	▲ 34	▲ 30	▲ 40
収 益	▲ 34	▲ 36	▲ 36	▲ 32	▲ 34	▲ 32	▲ 40	▲ 32	▲ 42

直前3ヵ月比　　DI値図表



調査時期	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	来期見通し
売 上	▲ 21	▲ 36	▲ 23	▲ 28	▲ 13	▲ 42	▲ 19	▲ 32	▲ 17	▲ 38
収 益	▲ 23	▲ 30	▲ 25	▲ 28	▲ 21	▲ 47	▲ 26	▲ 32	▲ 23	▲ 34

動　向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。内訳をみますと、その他の売上が改善しましたが、それ以外は全般的に悪化しています。

【直前３ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化する見通しです。

調査員のコメントには、「北海道胆振東部地震の影響により、宿泊予約のキャンセルがあったものの、その後順調に回復し、例年と変わらない状況まで戻った」「台風や長雨の影響から運送業務に大きな支障が出た」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況（DI値による）　（%）

項　目		全　体	理容美容	車両関係	その他
売上額	7月～9月と比較	▲ 17	▲ 22	▲ 7	▲ 21
	1月～3月の見通	▲ 38	▲ 45	▲ 7	▲ 52
収　益	7月～9月と比較	▲ 23	▲ 22	▲ 13	▲ 28
	1月～3月の見通	▲ 34	▲ 33	▲ 7	▲ 48
料金価格	7月～9月と比較	8	22	7	3
	1月～3月の見通	▲ 2	11	0	▲ 7
材料価格	7月～9月と比較	32	11	7	52
	1月～3月の見通	21	11	7	31
資金繰	7月～9月と比較	▲ 19	▲ 22	▲ 20	▲ 17
	1月～3月の見通	▲ 17	▲ 22	▲ 7	▲ 21

経営上の問題点・経営施策　　調査企業１８１社（複数回答）

経営上の問題点　【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	原材料高 48.4%	人手不足 45.2%	売上の停滞・減少 38.7%
卸売業	同業者間の競争の激化 63.6%	売上の停滞・減少 40.9%	利幅の縮小 31.8%
小売業	売上の停滞・減少 60.0%	大型店との競争の激化 37.5%	商圏人口の減少 25.0%
建設業	人手不足 51.4%	売上の停滞・減少 48.6%	利幅の縮小 40.0%
サービス業	売上の停滞・減少 45.3%	同業者間の競争の激化 32.1%	人手不足 30.2%

経営施策　　【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	人材を確保する 48.4%	販路を広げる 45.2%	経費を節減する 29.0%
卸売業	経費を節減する 50.0%	情報力を強化する 50.0%	販路を広げる 40.9%
小売業	経費を節減する 47.5%	品揃えを改善する 45.0%	売れ筋商品を取扱う 32.5%
建設業	人材を確保する 62.9%	経費を節減する 40.0%	情報力を強化する 37.1%
サービス業	経費を節減する 49.1%	販路を広げる 37.7%	人材を確保する 28.3%

【 調査要領 】

１．調 査 地 域　　北見地方１市４町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
２．調 査 時 点　　平成３０年１２月
　　平成３０年１０月～１２月期の実績および見込み
　　平成３１年　１月～　３月期の見通し
３．調査対象企業　　当金庫お取引先１８１社（任意抽出）
　　回答企業数　　１８１社
　　回　答　率　　１００％
４．調 査 方 法　　調査表による訪問聞き取り調査
　　調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
５．業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合　計
３１	２２	４０	３５	５３	１８１

６．分 析 方 法
　各質問項目を１００分比に換算し、パーセント（％）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（ＤＩ値）」で分析を行いました。

管内主要経済指標

北海道財務局北見出張所調べ

		単位	平成30年7月		平成30年8月		平成30年9月		備考
			実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	
消費	主要小売店売上高	百万円	7,062	▲ 1.6	7,338	0.5	6,662	3.0	管内主要小売店
	新車登録台数	台	1,038	▲ 2.7	753	▲ 13.4	901	▲ 5.0	(社)日本自動車販売協会連合会北見支部
	うち乗用車	台	862	▲ 2.6	609	▲ 14.6	747	▲ 4.5	
建設	新設住宅着工数	戸	63	▲ 11.3	78	▲ 31.6	67	▲ 13.0	国土交通省
	公共事業(前払金保証請負金額)	百万円	6,762	▲ 18.8	5,659	1.2	2,586	▲ 33.3	北海道建設業信用保証㈱
観光	知床宿泊者数	人	61,012	▲ 2.6	75,320	▲ 1.6	43,361	▲ 22.2	斜里町
	主要観光施設入り込み数	人	131,623	3.2	189,352	5.2	83,243	▲ 20.5	各関係先
	女満別空港利用客数	人	86,990	▲ 0.6	107,176	3.6	72,068	▲ 20.3	女満別空港管理事務所
金融	預金	億円	12,661	1.0	12,629	1.0	12,740	1.6	北海道財務局北見出張所
	貸出金	億円	4,845	2.1	4,897	1.9	4,988	0.7	
	貸出約定平均金利	%	1.343	▲ 0.082	1.341	▲ 0.074	1.328	▲ 0.075	
雇用	月間有効求人倍率	倍	1.31	▲ 0.01	1.32	▲ 0.03	1.34	▲ 0.08	北見・網走・紋別公共職業安定所
	新規求人数	人	1,675	0.3	1,533	0.5	1,540	▲ 10.7	

（注1） 前年比は、月間有効求人倍率、貸出約定平均金利がポイント、その他は増減率（%）

（注2） 金融はゆうちょ銀行を除く

（注3） 雇用はパートタイマーを含む